

TUAD IS HERE

●日常の中の芸工大



“芸工大らしさ”を発信した「グッドデザインエキシビション2012」。ブースデザインはOBと学生の協力で。

2012年11月23日から25日にかけて東京ビッグサイトで開催された「グッドデザインエキシビション2012」。国内外の企業によるグッドデザイン賞受賞作品が展示されるブースと並んで、芸工大は産学連携事例など多彩な成果を展示するブースを出展しました。ブースデザインを手がけたのは、プロダクトデザイン学科卒業生

の学生が所属する博展株式会社と現役の学生たち。“芸工大らしさ”を考え、“積み重ね、支える”イメージをコンセプトにした在学生のアイデアを歌代さんがブラッシュアップし、開放的な雰囲気の中に大きな可能性を感じさせる空間を作り上げました。

WEB 歌代さんと学生の想いを届けます。

表紙のアート



無印良品と建築・環境デザイン学科の共同研究「未来の家プロジェクト」が進行中。

建築・環境デザイン学科教授陣と学生有志約20名が、これからの日本の住まいと環境、温熱性能の研究を通じた未来の暮らしを提案、無印良品の家での商品化を目指す「未来の家プロジェクト」が進んでいます。12月5日、6日には良品計画の開発担当者をお招きし、実寸大のモデルルームで空間を構成するワークショップを開催しました。

WEB 学生の提案と開発担当者の声を伝えます。

g*gとは

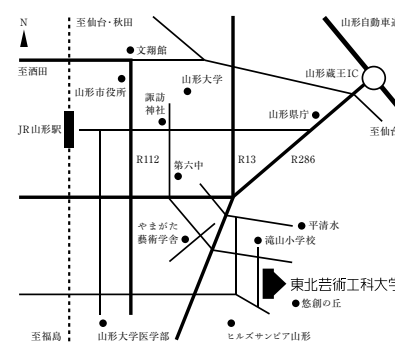
芸工大広報誌のタイトルは「g*g」。最初の「g」は芸工大のgであり、もうひとつの「g」は芸術市民のg。文化的志向を持つ皆さんを「芸術市民」と名付けました。あの絵が好き！このデザインがかっこいい！景観がきれい！こんな風に日常の中で感動できる人は立派な芸術市民。そんな芸術市民のみならず芸工大が、「+」より強い「*」で結ばれることで、新しい何かを創り上げていきたい、そんな思いを込めて「g*g」、親しみを込めて「ジー・ジー」と呼んでください。広報室では、「g*g」を置いていただけるショップやギャラリーなどを随時募集中です。

東北芸術工科大学

【芸術学部】文芸学科、美術史・文化財保存修復学科、歴史遺産学科、美術科【総合美術/日本画/洋画/版画/彫刻/工芸(漆芸、陶芸、金工)/テキスタイル】
【デザイン工学部】企画構想学科、プロダクトデザイン学科、建築・環境デザイン学科、グラフィックデザイン学科、映像学科、メディア・コンテンツデザイン学科
【大学院芸術工学研究科】博士後期課程 芸術工学専攻、修士課程 [芸術文化専攻/デザイン工学専攻/デザイン工学専攻(仙台スクール)]
【研究機関】やまがた芸術学舎 [共創デザイン室/東北復興支援機構TRSO]、東北文化研究センター、文化財保存修復研究センター、こども芸術教育研究センター、デザイン哲学研究所、東アジア芸術文化研究所

g*g オフィシャルサイト <http://gs.tuad.ac.jp/gg/>

大学周辺マップ



東北芸術工科大学広報誌 g*g
2013年1月16日発行
発行：学校法人東北芸術工科大学
〒990-9530 山形県山形市上板田3-4-5
東北芸術工科大学広報室
TEL:023-627-2246 FAX:023-627-2185
URL: <http://www.tuad.ac.jp/>
Email: hello-gg@aga.tuad.ac.jp
©東北芸術工科大学 Printed in Japan 2013
印刷：田宮印刷株式会社



g*g

芸術市民とつとよに創る
芸工大広報誌「ジー・ジー」
Vol.23 WINTER 2013
東北芸術工科大学

芸工大 * 卒展

目前に迫る「卒業／修了研究・制作展」。
各学科の卒展にかける想いと特色をご紹介します。

●2012年度 東北芸術工科大学 卒業／修了研究・制作展
会期:2月13日(水)～17日(日)10:00～17:00 会場:東北芸術工科大学キャンパス[入場無料]

創造力と想像力は、人間の営みのあらゆる分野において基本となるものです。東北芸術工科大学は、このふたつの“ソウゾウリョク”を通して人材を育成するという理念を持ち、オリジナリティある発想で社会と結びつきながら力を発揮できる“豊かな社会人”を輩出しています。卒業／修了研究・制作展は、学部生は4年間、大学院生は6年間、学生自らが積み上げてきた成果を見ていただく機会であり、また他者の目を通して振り返る学びの場です。山形の環境や風土、この大学だけの空気感、そして東北出身者が多い学生の資質。それら全てが作品や研究内容に表れます。首都圏の学生たちとの違いをぜひ堪能してください。東北、山形をまるごと味わえる卒展になると思います。

宮島達男 [現代美術家／東北芸術工科大学副学長]

映像

MAP A H I



映像学科として初めての卒展。
全国に存在を示す第一歩に。

映像にはCG、アニメ、映画、インスタレーションと様々な特色を持ったものがあります。卒展ではそれぞれがあらゆる手法を駆使して作られ、一朝一夕ではできない積み重ねの表れとなっています。「サクラダシネマ」での上映以外に本館7階でも展示を行います。モニターに映っているものだけでなく、見て触れる映像もあるので是非ご覧ください。(映像学科4年 丸山友生)

歴史遺産

MAP A



長時間のフィールドワークを凝縮した
研究の成果をわかりやすく展示。

歴史学、民俗学、考古学の3分野で構成されている歴史遺産学科は、机上だけでなく、現場に向かい身体を動かして学んでいるという特徴があります。1年間もしくはそれ以上の時間をかけて現地で調査してきたことをまとめた論文は4年間の集大成。実際に聞き書きした生の資料などを展示し、研究を身近に感じてもらえる工夫をしています。(歴史遺産学科4年 高橋智美)

山形駅～芸工大の往復バスが出ます。



JR山形駅東口のバスロータリーから、卒業専用のシャトルバスを会期中の週末、16日(土)、17日(日)に運行予定です。会期中、東北芸術工科大学の駐車場は大変混み合うことが予想されますので、シャトルバスや公共交通機関のご利用にご協力ください。

グラフィックデザイン

MAP H I

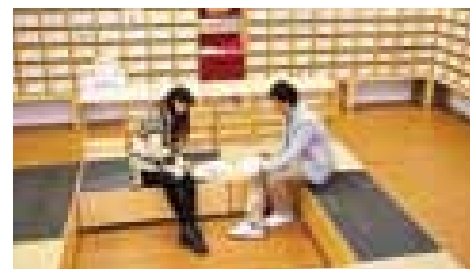


テーマは“花と結晶”
展示場いっばいに響き合う自由な個性。

4年間の学びが花となり、それぞれの仕事の結果となつてつながっていく卒展にしたいと思っています。この学科はイラストや写真など何をしていても良いという自由な雰囲気があるので、展示場は個性が響き合う空間になることを意識しました。学科の学生数が倍になった今年度、新しくなった演習棟を会場に、新鮮な才能を感じてほしいです。(グラフィックデザイン学科4年 今野絵里菜／伊藤薫)

企画構想

MAP E



テーマは“カフェ”。
のんびりとした雰囲気の中で楽しい企画を。

企画は人と人とのつながりを作っていくものです。企画構想学科では、42人の個性とアイデアに溢れた企画を人が集まるカフェのような雰囲気の中で展示。卒業自体を企画のひとつとして意識し、一期生として前例がない所から話し合い展示づくりに力を入れました。コーヒーで一息つきながら視点が変わった個性的な企画に触れてください。(企画構想学科4年 菅原大夢／舟山奈緒子)

建築・環境デザイン

MAP F



等身大の自分を見せる“S=1:1”
建築・環境デザインは新たな表現へ。

建築・環境デザイン学科の卒業テーマは“S=1:1”。等身大の自分を見せていこうというコンセプトで、表現できる全てを見せる展示になっています。実感をもって見られるように、地域に入り込んだ研究や建築をリアルに表現しているのが見所です。こんな形や着眼点があるんだ、という気づきのきっかけになると嬉しいです。(建築・環境デザイン学科4年 金子明日香)

大学院 仙台スクール

MAP B



懸案を解決し人を動かす提案を。
地域のお店とのコラボレーションも。

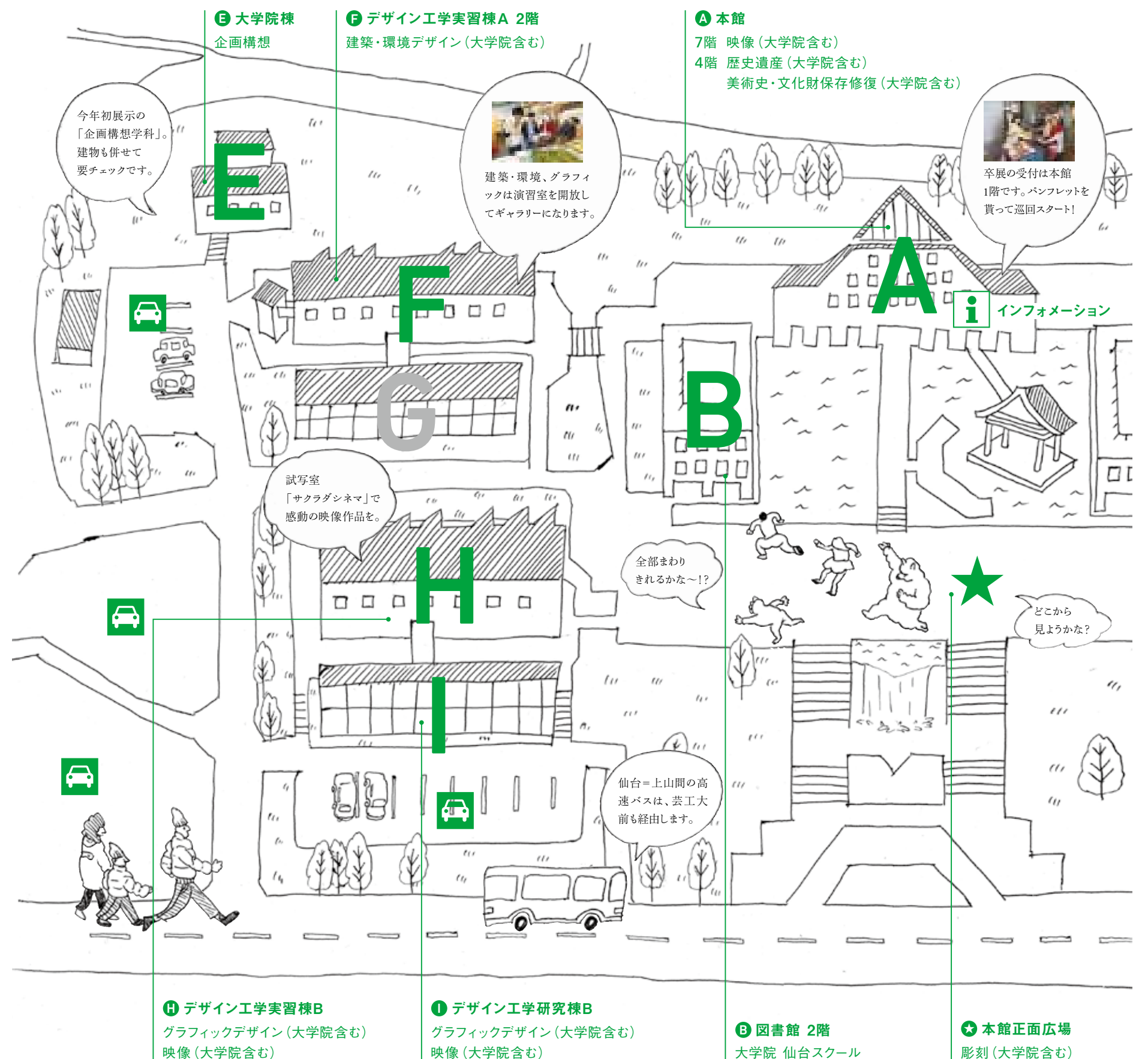
大学院仙台スクールでは、地域、産業の課題を解決していくビジネス・プロデュースやコンテンツ・プロデュースを学んでいます。卒展では、緻密なグラフィックで制作した3D格闘ゲーム、量を使った新しい製品と研究、スマートフォンアプリで飲食店の最新情報を提供するビジネスモデルの提案など、気合いの入った内容をお見せします。(大学院仙台スクール2年 阪野正義)

WEBで最新情報を更新していきます。

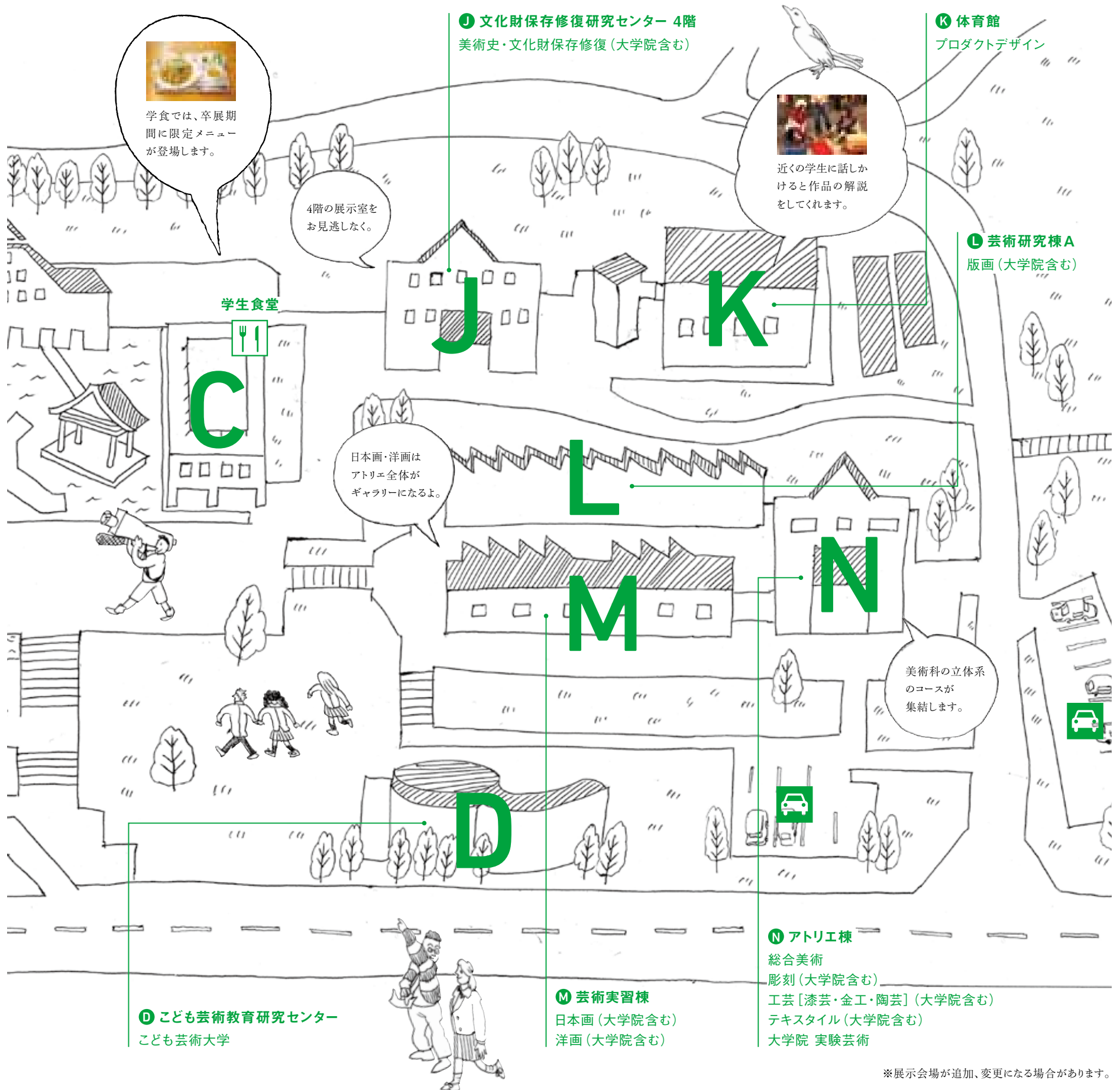


卒展のオフィシャルページは会期に向けて
順次コンテンツを追加中。イベント情報などは決まり次第、更新します。ブログやツイッターによる、学生の生の声も必読です。

今年も芸工大の卒展を開催します。今回は、会場の見どころや各コースの意気込みをご紹介します。さあ、あなたも卒展の旅にでかけよう。



※展示会場が追加、変更になる場合があります。



美術史・文化財保存修復 MAP A J



中身の濃い美術研究、修復の前後の変化を見てください。

美術史・文化財保存修復学科の展示では、西洋と日本の美術史に関する研究や立体作品修復、絵画修復、保存科学の研究など、美術に関わる多くのことを目にすることができます。センター4階にずらりと並ぶパネルと作品は見所のひとつですが、本館での研究発表も聞いてもらえると美術についてより深く理解できると思います。(美術史・文化財保存修復学科4年 棚橋美沙希)

プロダクトデザイン MAP K



ものづくりの楽しさを体感!“わくつく”プロダクトデザイン。

プロダクトのテーマは“わくつく”。江戸時代の「わくつく」という言葉と「作る」意味を掛け合わせて、“わくわく作る”コンセプトで展示します。身近な素材の表情が変わるわくわく感、県内企業の協力が見えた新たな可能性、テーマに沿った会場レイアウトは必見。直接作品を手に触れて体感できるのがプロダクトデザイン学科の特色です。(プロダクトデザイン学科4年 堀愛未/佐藤貴美)

学食では卒業の限定メニューが登場。

会期中、学食は通常メニューの一部をご提供しますが、加えて卒業にちなんだ期間限定メニューを準備中です。現在、学食の料理長がメニューを考案中とのこと。混雑状況によっては売り切れる場合もありますので、ご了承ください。

彫刻 MAP N ★



素材を知って、表現の可能性を高める個性的な作品と空間を楽しむ展覧に。

彫刻コースでは木や石など自然の素材を知ること力を入れて、木こり体験など自然と対面しながら素材のことを学んできました。その上で、自分が表現するのに一番可能性を持った素材を選び制作したのが今回の作品です。同じ素材を使っているけれども別々の個性が現れている所や、作品と一緒に演出した空間も楽しんでいただければと思います。(美術科彫刻コース4年 木村菜央)

工芸【漆芸・金工・陶芸】 MAP N



失敗と成功を繰り返し作り上げた作品に宿る4年間の想い。

工芸コースは、作品の存在感だけで観ていただいて、感じてもらうことを大事にしています。小さい作品、大きい作品、様々ありますが全ては今まで勉強してきた基本的なことが活かされています。何度も失敗を繰り返し、成功を重ねながら新しい技法や表現方法に取り組んだ卒業制作は、この4年間の集大成。何かを感じてもらえたら嬉しいです。(美術科工芸コース4年 大沼加織)

テキスタイル MAP N



生きて感じてきたことを作品に。天然素材のあたたかみを感じる展示。

羊毛を縮絨してフェルトを作り組み立てて靴にしたり、天然染料の茜を使って染色したり、テキスタイルコースは素材に特にこだわっています。また、手法よりもコンセプトを重視していて、今まで生きて感じてきたことを作品として妥協せず形にしている学生が多いので、それぞれの表現を感じてくれたらいいなと思っています。(美術科テキスタイルコース4年 豊原詩織)

日本画 MAP M



日本画に現われる彩り豊かな十人十色の個性。

日本画コースは県外から来た学生が多く、山形の気候や風土に感じる所は多かったと思います。どこにいてもスケッチする場所があったり、造られていない山があったりすることは作品に影響を及ぼしたでしょう。卒業展では、豊かに育った感性や自分に合った表現ができる画材で十人十色の個性が見られますので、どうぞ楽しみにしてください。(美術科日本画コース4年 大澤梢)

洋画 MAP M



自由に創作に向き合う洋画コース。スケールの大きな作品で見応え十分。

油絵という枠に縛られず、自由に創作に向き合うのが洋画コースの特徴です。服や彫刻など立体作品に取り組んでいる学生もいます。見所として挙げられるのは作品スケールの大きさで、私も他大学の一般的な作品と比べるとふた回りは大きいものを仕上げています。それぞれ、自分の目標を超えるべく打ち込んだ見応えのある作品になると思います。(美術科洋画コース4年 佐藤彩絵)

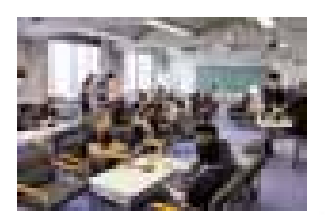
版画 MAP L



溢れ出すエネルギーと多彩な魅力。魂を込めて描き出す版画の世界。

卒業生9人の個性と観る者を圧倒するようなエネルギーに溢れた作品がそろいました。4年間の集大成として、また版画コースの一期生として魂を込めて注ぎ込んだ卒業制作です。展示スペースを贅沢に使い、ひとりひとり自由にレイアウトした空間で、独特の世界観を存分に発揮した作品や緻密で写実的な描写など版画の多彩な魅力を感じてください。(美術科版画コース4年 千田若菜)

文芸学科もイベントブースで参加。



2011年度に新設となった文芸学科はまだ4年生がいませんが、受験などの各種相談コーナーを設置予定。学科の演習課題が掲載された文芸誌や学生有志で制作している同人誌を読むこともできます。

総合美術 MAP N



予想できない発見が一番の見所。多様な表現方法を楽しんでください。

総合美術コースは音楽や植物、服を使用したり、来場者へ交えたワークショップや食品を作品にするなど表現方法の幅が広いのが特色です。他コースにはない素材の組み合わせの面白さもあり、「総合美術」という名前からは予想もできない発見があるのではないのでしょうか。コースとしては初の卒業展として、楽しんで観てもらえたらと思っています。(美術科総合美術コース4年 菅原良)

ども芸術大学 MAP D



親子が一緒にできること。3年間を振り返る、感動共有空間に。

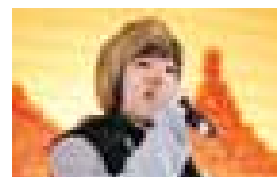
たくさんの感動体験を積み重ねてきた3年間を、親子で振り返る展示を行います。家庭とども芸大での成長を綴ってきた「どんぐり日記」や、思い出の写真、夏に行った玉ねぎ染め、藍染めの材料を使うことを考えています。辿ってきた過程と気持ちの流れを見せていく展示で、成長を共有する時間を生み出したいと思っています。(ども芸術大学 田中明子/猪熊円/五十嵐由美子)



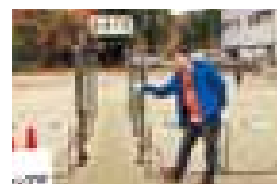
芸工大 * 月山青春音楽祭¹²



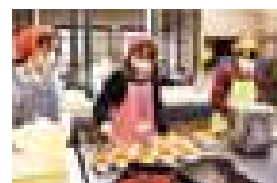
西川町の廃校から響き始めた、新たな音楽文化のはじまり。「月山青春音楽祭」



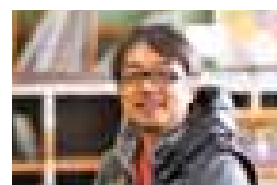
学生代表として壇上に立つ、企画構想学科3年小山優さん。



「いもに音楽堂」の入場はここから。受付、案内も全て学生が。



「まんま・マルシェ」のカラーは給食のレシピで懐かしい味。



「オトナのレコード教室」で寺岡氏とポップス談義をする小山教授。

2012年11月11日、西川町の廃校になった小学校が1日だけ、音楽に包まれました。企画構想学科3年(通称:SPOOL)が主体となり取り組んだこのイベントの名前は「月山青春音楽祭¹²」。ミュージシャンの寺岡呼人氏による「全ての年齢の人たちがごく普通にライブ会場に足を運び、生活の一部として音楽を愛してくれたら」という想いを学生が受け、年齢を重ねるとともに音楽イベントに消極的になりがちな日本の現状を打破し、山形から音楽と人の距離を縮めることを目的に企画、開催しました。当日は、小山薫堂教授と寺岡氏の「朝の会」からスタート。旧西山小学校の校舎は「出羽三山校舎」として復活し、懐かしい表情で来場者を迎えました。各教室では臨場感ある音響でレコードを聴くことができる「オトナのレコード教室」や、子どもも参加できるワークショップを開いた「自由音楽教室」、80年代エレクトロミュージックが教室に鳴り響く「かざらないディスコ教室」など、年代にとらわれず音楽を楽しめる企画が時間割いっぱいになり広がりました。また、給食のレシピで作ったカラーを味わ

える「まんま・マルシェ」や、サポート企業が提供したお菓子で休憩できる「おかしなおもち箱教室」「つきCAFE」は、ほっと一息つける場所として機能。ゆったりとした時間を演出しました。「いもに音楽堂」と名付けられた体育館では、Sing Like Talkingの佐藤竹善氏、シンガーソングライターのKAN、寺岡氏が所属するJUN SKY WALKER(S)のライブを開催。体育館いっぱい集まった観客の心と会場全体を熱く盛り上げ、「月山青春音楽祭¹²」を訪れた人々の想い出となる忘れ難い時間を創り出しました。「来場される方がどんな顔でこのイベントに参加してくれるのか、いつも想像しながら企画運営をしていきました」と語るのは、企画構想学科3年で学生代表の小山優さん。「音楽とは、青春とは、文化を創ることについて想いを膨らませていけば、来年はさらに面白いものができると思います」。小山さんは文化創造の第一歩として一定の手応えを感じながらも、継続する必要性と今後への期待を語り、後輩へとバトンを渡しました。**WEB** 西川町とのつながり、来場者と学生の声を伝えます。

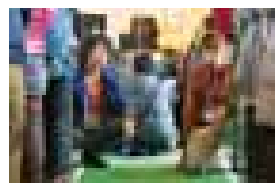


企画構想学科

企画構想学科では、広告や広報、映像やウェブなどのコンテンツ、企業や商品のブランド戦略など、あらゆる分野で人や社会が幸せになるアイデアを実現する「企画力」を学びます。その原点は、人を喜ばせること。例えば友達の日をサプライズ演出や、ブログをみんなに読んでもらうための仕掛けづくり。企画の種は、ごく身近に転がっているのです。



「自由音楽教室」ではギター演奏の他、マラカス作りなども。



「いもに音楽堂」でのライブはチケットが完売し、会場は満員に。



オレンジのTシャツがスタッフの目印。来場者を笑顔でご案内。



ロックのアナログ回帰から、音楽の普遍性について語る寺岡呼人氏。

OB

* 教授

過去、現在、未来とつながる美術の感動を伝える学芸員の仕事。

鶴岡アートフォーラムで主任学芸員として芸術文化の振興に力を注ぐ卒業生の姿。

平井鉄寛 Tetsuhiro Hirai / 東北芸術工科大学美術史・文化財保存修復学科卒業後、学習院大学大学院人文科学研究科で哲学専攻し、在学中に神奈川県立近代美術館の非常勤学芸員として勤務。2011年4月に鶴岡アートフォーラム主任学芸員に就任。

安發和彰 Kazuaki Awa / 美術史・文化財保存修復学科准教授。西洋美術史担当。スペイン中世のキリスト美術を専門に、ヨーロッパ中世美術および近・現代美術、またピカソやミロ、ダリを含むスペイン美術について講義や演習を行っている。



写真上:「ゼミの演習で私が発表したのが、確かエル・グレコに関するものでした」と、懐かしそうに安發准教授の著書「エル・グレコの世界」を手にとる平井さん。写真下:「山形で活躍してくれているのが嬉しい。やりたいことができるように願っています」とエールを送る安發准教授。

美術史・文化財保存修復学科で西洋美術史を学んだ平井鉄寛さんは、学習院大学の博士課程に進学後、神奈川県立近代美術館の学芸員を経て、現在は鶴岡アートフォーラムの主任学芸員として活躍しています。鶴岡アートフォーラムはコレクションを持たず企画展に重点をおく美術館として2006年に開館した美術館で、鶴岡に芸術文化を広めている拠点のひとつ。2011年には平井さんの企画で、酒瓶の王冠やラベルを織物のように編み上げるガーナの彫刻家の特別展「彫刻家エル・アナツイのアフリカ」を開催し、来館者に新鮮な感動を与えました。また、高齢者や親子向けのワークショップを企画し、市民が美術に触れられる機会を作り出しています。

学芸員として才能を発揮するきっかけとなった、美術史を専攻した理由を尋ねると「絵が好きだったから」と微笑んだ平井さん。「進学を考えた時に、高校時代に読んで『ゴッホの生涯』という本が心に残っていて、実技以外にも美術の歴史を学ぶことに感心がありました。いろいろな地域や時代において様々な政治的、社会的情勢の中で描かれたことを知った上で作品を見直すと、より深くその作品を理解できます。そこが美術史を学ぶ面白さですね」。西洋美術史の専門家として教鞭をとる安發和彰准教授は、「美術史を学ぶことで、過去から現在までつながっている美術を未来へ伝えていきたいという気持ちになります。学芸員や修復士というのはそこに直接関わる仕事ですし、喜びも大きいと思います」と、美術史を学ぶ意義と学芸員の仕事について語りました。また、「平井さんのように熱心に学んで学芸員の資格を取得し、専門性を高め、学芸員になっている卒業生は全国にいます。地元や縁ある場所で、芸工大で育んだ知識や豊かな気持ちを役立てていくのには一番いいことなんじゃないかな」と語り、鶴岡アートフォーラムの開館記念として開催した芸工大ゆかりのアーティストによる作品展「バンドッド・ブルー」を例に挙げ、今後芸工大と連携した活動にも期待を寄せました。それに対し「ジャンル、時代ともに幅広い展覧会ができるようになったので、いい企画をして多くの作品を紹介していきたいです。今の自分があるのは先生方の指導のおかげなので、これからも美術に対する愛情を学生に伝え、美術に関わる仕事ができる人材を育ててください」と応える平井さん。「知らない作家の展覧会には足が遠のく面があるんで、つながりが感じられる郷土の作家を紹介しながら、美術館と人の垣根を低くして既存の知識がなくても美術は楽しめるんだということを伝えたいですね」と、学芸員としての想いを聞かせてくれました。

●庄内の美術家たち8
平井さんが企画された、地域に関する芸術文化の動向をたどり、郷土縁の作家と作品を紹介するシリーズ展です。
会期:2013年2月9日(土)~3月10日(日)9:30~18:00/月曜休館
会場:鶴岡アートフォーラム
出展作家:今井繁三郎、木村儀三郎、土井栄、高藤伊右衛門、ほか
観覧料:一般200円/高大生100円/中学以下無料



美術史・文化財保存修復学科

美術作品や文化財は、その時代を生きた人間が寄り添ってこそ、後世へ伝えることのできるかけがえのない存在。全国の美術館などから寄せられる本物の作品分析・修復に学生が携われる環境の中で、「美術史」、「保存科学」、「絵画修復」、「立体作品修復」の4分野を軸に、芸術文化全般に関わる幅広い知識と技術を理解し、未来へと継承する術を学びます。

NEWS & TOPICS



17 “あなたが心を感じていること”を多様に表現した企画展。「TUAD mixing!」

本学教員のプロとしての仕事を紹介する企画展「TUAD mixing!」を2012年10月22日～11月8日に7階ギャラリと本館前広場で開催。今回はグラフィックデザイン学科の原高史准教授と建築・環境デザイン学科の西澤高男准教授が、「あなたが心を感じていること」をテーマに学生や教員から収集した「心の声」を、これまで手掛けてきたコミュニケーションアートやインスタレーション手法を活かして作品化しました。また連日、建築史家の五十嵐太郎氏や根岸吉太郎教授、山川健一教授、竹内昌義教授などをゲストに迎えた、トークショーも開催しました。◎企画:和田菜穂子(美術館大学センター准教授) URL:http://blog.tuad.ac.jp/mixing2012/

2 東日本大震災の義援金 500万円校友会から寄贈

東北芸術工科大学の卒業生組織である校友会から、東日本大震災の義援金として東北芸術工科大学に500万円を、月山音楽祭の支援金として30万円を、それぞれご寄贈いただきました。



3 仙台発のリノベーション第2弾 「おだやかに暮らす家」が完成

建築・環境デザイン学科では、デザインホームグループと産学共創し、仙台市内マンションのリノベーションプロジェクトを実施しています。2012年10月1日にそのプロジェクト第2弾「おだやかに暮らす家」が完成。卒業生で同社に務める川上謙さんが、東日本大震災で被災した依頼者のリノベーションを設計。学生有志が生活スタイルに合わせた間取りなどを提案し、採用されました。

4

高橋秀幸さんがグランプリを受賞
ファッションシューズコンテスト

日本ケミカルシューズ工業組合が主催する「ファッションシューズコンテスト2013」で、プロダクトデザイン学科1年の高橋秀幸さんがデザインしたシューズ「狭く+α」が、全国から応募のあった2152点の中から見事グランプリを受賞。授賞式は2013年1月23日に行われます。 URL:http://www.csia.or.jp/



山形献血ルームのインテリアを早野由美准教授がデザイン

プロダクトデザイン学科の早野由美准教授が山形県赤十字血液センターからの依頼を受け、山形献血ルームのインテリアデザインを担当。プロダクトデザイン学科の学生と共に検討を重ね、2012年10月10日にオープンしました。インテリアデザインの一貫したコンセプトは、山形の雄大な自然と、歴史の中で育まれてきた技術や、和。他にはない癒されるような空間に仕上がっています。

5 日本版画協会展で版画コースの学生、卒業生が才能を発揮

日本版画協会が主催し、版表現の可能性を追求し新しい才能の発掘を目的とする「第80回日本版画協会展」に、版画コースおよび版画専攻の在学生、卒業生が多数受賞・入選。2012年10月5日～19日に東京都美術館での受賞作品展に出品されました。◎受賞:西村沙由里(院2年/山口源新人賞) / 榊原慶(卒業生/B部門奨励賞) / 佐藤妙子(卒業生/準会員優秀賞FF賞) ◎入選:金子美早紀(以下、学部4年) / 相馬祐子 / 武田圭以都 / 臼井友理恵(以下、学部3年) / 齋藤僚太 / 平野有花 / 邊見朋子 / 倉金奈々子(卒業生) URL:http://www.hangakyoukai.com

7 荒井良二氏の原画 カレンダーを被災地の皆さんへ

荒井良二氏より絵本「あさになったので まどをあけますよ」の原画を、田宮印刷株式会社に印刷費用をそれぞれご提供いただく形で、東北復興支援機構(TRSO)では2013年カレンダーを製作しました。カレンダーは南相馬市鹿嶋地区へ744冊、石巻市のご家族へ80冊を寄贈。山形市内の大型書店、山形まなび館で購入でき、収益の一部は被災地への教育支援事業に充てられます。◎「あさになったので まどをあけますよ オリジナルカレンダー」A4版/36ページ / 4色カラー印刷 / 2000部 ◎企画:宮本武典(美術館大学センター准教授)◎デザイン:村岡優 / 荒木淳一(株式会社コロコ)

8 <D-Link>創設を記念して開催 「山形エクセレントデザイン展」

県内企業のデザインに関する様々な活動を支援するデザイン相談窓口(D-Link)を共創デザイン室に創設。その記念として、優れたデザイン製品を選定し顕彰する「山形エクセレントデザイン展」をやまがた芸術学舎で2012年11月23日～12月22日に開催しました。県内のデザイナー情報や産学連携プロジェクトの成果を展示し、やまがた発のデザインの魅力と可能性、デザインの持つ力や楽しさを紹介しました。◎主催:山形デザインコンベクション実行委員会(山形県/山形市/山形県商工会連合会/山形県商工会議所連合会/山形県中小企業団体中央会/財団法人 山形県企業振興公社)◎共催:やまがたデザイン相談窓口(D-Link)(山形県/共創デザイン室/NPO法人山形県デザインネットワーク

9 クリスマスを幻想的に彩るディスプレイが 山形駅前通りに登場

総合美術コース1、2年生30名が、「美術による街なかの楽しさの演出」を演習課題に、山形市内のデパート「十字屋山形店」のショウウィンドウを飾るインスタレーション作品を共同制作し、2012年11月29日～12月25日に披露しました。◎統括:千葉彩香(総合美術コース2年) ◎指導教員:岡田真宏(美術科教授) / 松田道雄(美術科教授)

10 文化財保存修復研究センター 10年の取り組みを展示しました

文化財保存修復研究センターでは10年の活動を振り返り、各分野がこれまで手掛けてきた多数の保存修復の実績と、文化財レスキュー事業や地域文化遺産の調査・研究、保護活動の成果を一同に披露する「地域文化遺産と保存修復 文化財保存修復研究センター10年の取り組み」展を2012年10月25日～11月7日に図書館2階スタジオ144で開催しました。 URL:http://www.iccp.jp/

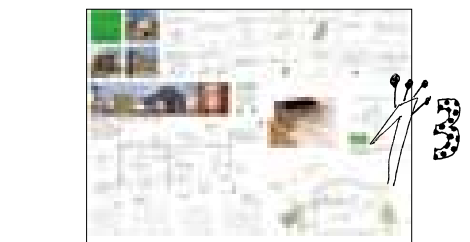


11 原画展示や復興支援プロジェクトも 「荒井良二の山形じゃあに2012」展

山形出身の絵本作家 荒井良二氏の展覧会「荒井良二の山形じゃあに2012」を2012年10月7日～31日に開催。(山形まなび館)をメイン会場に、サブ会場として(やまがた芸術学舎)(ミカワクラス)(花小路ランク)を結び、最新の絵本原画、映像作品、復興支援プロジェクトなど、多彩な仕事を紹介しました。また会期中にはオープンイベント「なりきり荒井良二～100人の写真大会」とライブイベント「ジャガーの夜」も実施しました。 URL:http://blog.tuad.ac.jp/trso/

12 第21回河北工芸展で 卒業生が受賞、入選

せんだいメディアテーク6階ギャラリで2012年10月19日～24日に開催された「第21回河北工芸展」で、工芸コース卒業生の平田真理江さんの作品「諸織織着物最上紅「春の夕」」(染織)がJAL賞を受賞、清野紀子さんの作品「白磁化粧抜き皿」(陶磁)が入選し、同展に出品されました。◎主催:河北新報社、河北文化事業団、(公財)宮城県文化振興財団 URL:http://www.kahoku.co.jp/busii/kougei2012/



16 第16回JIA東北建築学生賞で 米田菜奈子さんが特別賞を受賞

せんだいメディアテークで2012年10月19日に実施された「第16回JIA東北建築学生賞」で、建築・環境デザイン学科3年の米田菜奈子さんの「ひとりだけ ふたりだけ かぞくだけ」が特別賞を受賞。「山形エコハウス」「蔵王オルタナハウス」などを研究テーマに、生活スタイルに合わせた部屋の間取りや使用方法の提案し、環境配慮住宅を丁寧に評価しています。◎主催:社団法人 日本建築家協会 東北支部 URL:http://www.jia-tohoku.org/

14 アートで天童市街の魅力を発信。「はじめの一歩展」

2012年11月13日～12月2日に同美術館を会場に、天童の街の魅力を発信するアートプロジェクトの記録展「はじめの一歩展」を開催。卒業生のインザワヰさん、田中里美さん、棚澤寛さん、芳賀一彰さん4名がメンバーとなっている「天童アートロード実行委員会」が、天童市で2012年10月に実施した4回のアートプロジェクトの記録展で、参加者が創作した個性豊かな作品と、4名のアーティストとしての作品を展示しました。◎主催:天童市美術館 URL:http://www3.ic-net.or.jp/~ten-bi/

15 心と身体を震わせる和太鼓の響き 「2012太恵 冬公演」

和太鼓研究会(太恵)主催による、演奏発表会「2012 太恵 冬公演」を2012年12月22日に本学体育館で開催。(太恵)によるオリジナル曲を中心に、迫力ある伝統曲を演奏するほか、「学生組」「学生有志」「受講生」が日本の伝統曲に取り組み、稽古を重ねた成果を発表しました。◎主催:NPO法人ETIC URL:http://challenge-community.jp/award2012/朝日町URL:www.town.asahi.yamagata.jp/

18 前田哲准教授の監督映画が 映画祭特別招待作品に

2012年10月20日より開催された国際映画製作者連盟公認映画祭「第25回東京国際映画祭」で、映像学科の前田哲准教授の監督映画「旅の贈りもの 明日へ」が特別招待作品として上映。オープンイベントでは主演の前川清氏や山田優氏などの豪華キャストとともにグリーンカーペットに登場しました。映画祭公式URL:http://2012.tiff.jp-net/ja/映画公式URL:http://www.tabi-fukui.jp/



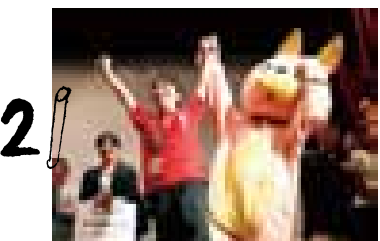
17 “山形∞宇宙”をテーマにした2日間 「紅花ルネサンス vol.5」

19 山形ならではの和洋菓子を 楽しむ「用の美～変わる器と 広がる和～」展

工芸コース3年生9名が制作した工芸品と、山形ならではの和洋菓子を楽しむ「用の美～変わる器と広がる和～」展を2012年12月2日、2日に(山形まなび館)で開催。和・洋菓子を盛り付ける菓子器を展示したほか、その器を使用し老舗菓子店(佐藤屋)と洋菓子店(パティスリー・コウシロウ)からご提供いただいたお菓子を食べるカフェを設置しました。

20 <山形まなび館・MONO SCHOOL>が グッドデザイン賞を受賞。

大学院修了生の萩原尚季さん(株式会社コロコ代表取締役)が運営する(山形まなび館・MONO SCHOOL)(山形市)の活動が、公益財団法人日本デザイン振興会が主催するGOOD DESIGN AWARDで「2012年度グッドデザイン賞」を受賞。また同賞受賞対象(毎年約1,000件)の中から審査委員が注目した100件に与えられる「グッドデザイン・ベスト100」にも選定されました。 URL:http://www.g-mark.org/award/



21 佐藤恒平さんの実験的な地域振興の手法が総合グランプリを受賞

大学院修了生の佐藤恒平さんが修了制作として山形県朝日町の協力を得て企画し、今も活動を続ける「着ぐるみを使って引き出す地域と人のチカラ」山形県朝日町・桃色ウサビプロジェクト」が、2012年9月9日に開催された「地域仕事づくりチャレンジ大賞2012」に東北ブロック代表で出場し、総合グランプリを受賞。ドイフの公共放送「ARD」でも活躍ぶりが放送されました。◎主催:NPO法人ETIC URL:http://challenge-community.jp/award2012/朝日町URL:www.town.asahi.yamagata.jp/

22 日本画の公募展、第39回創画展に 古田正洋さんが入選

日本画コース卒業生で副手の古田正洋さんの作品が、社団法人創画会が主催する日本画の公募展「第39回創画展」に入選。東京都美術館と京都市美術館、愛知県美術館ギャラリーの入選展に出品されました。 URL:http://www.sogakai.or.jp/

NEWS & TOPICS

17 “山形∞宇宙”をテーマにした2日間 「紅花ルネサンス vol.5」

美術家テキスタイルコースでは2008年度より、自然と芸術の循環を意識し、様々な素材発見の実験場とする「紅花ルネサンス」プロジェクトを展開しています。今年度初日の2012年12月21日は、本学学生が授業を通じて学んだ成果報告と、染料博物館(畑)で種から栽培・収穫した紅花から作った紅餅を使い、冬至の季節を感じながら「寒中紅花染め」を開催。22日は、特別ゲストに詩人の吉増剛造氏を招き、詩の朗読と氏の宇宙観を語るなど、紅花を通して宇宙の不思議と未来の「種子」について語り合う2日間となりました。

23 二紀展で卒業生が受賞 学生、大学院生が多数入選

2012年10月17日～29日に(国立新美術館)(東京都)で開催された「第66回二紀展」で、洋画コース卒業生の原田圭さんの作品が二紀賞を受賞、齋藤ナオさんの作品が奨励賞を受賞したほか、洋画コースに在学生・卒業生、大学院生が多数入選しました。◎二紀賞:原田圭(卒業生) ◎奨励賞:齋藤ナオ(卒業生) ◎入選:浅野友里子(以下、学部4年) / 高橋彩香 / 高橋克幸 / 山城祥子(初入選) / 小野寺裕(以下、大学院生) / 佐藤未希 / 武田恵子(以下、卒業生) / 石崎裕香 / 小田志保(副手) / 藤澤朋広 / 渡辺まひ URL:http://www.5a.biglobe.ne.jp/~niki-kai/

24 文化庁メディア芸術祭で 2名の作品が推薦作品に選出

文化庁メディア芸術祭実行委員会が主催するメディア芸術の総合フェスティバル「第16回文化庁メディア芸術祭」で、大学院ビジュアルコミュニケーションデザイン領域1年の前田結歌さんの作品「まだかると」と、映像学科卒業生の大脇理智さんの作品「skinslides」がアート部門の審査委員会推薦作品に選出されました。 URL:http://j-mediaarts.jp/

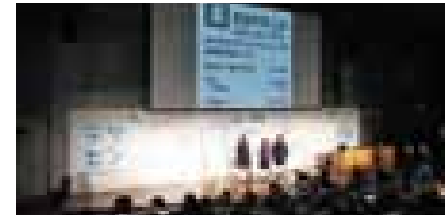
25 洋画コース4年浅野友里子さんが 国際瀧富士美術賞奨学生に選出

環境芸術振興と人材育成を目的として1980年に発足した奨学金制度「国際瀧富士美術賞」の第33期奨学生に、洋画コース4年の浅野友里子さんが選出され、2012年10月29日に「東京会館」(東京都)で授賞式が開催されました。◎指導教官:木原正徳(美術科教授)



26 山形市が日本画コース学生2名の 絵画を購入。展示されています

山形市内在住の美術作家で優秀な成績を取った作品を購入し、作家の創作意欲を高めると共に、市民が芸術に親しめる環境づくりを推進するという山形市の意向により、日本画コース2名の絵画2点が市に購入されました。山形市役所2階南側の吹き抜け通路に2012年11月上旬から展示されています。◎出品作家と作品名 吉住神奈(学部4年)「また明日」(展覧出品作品) 廣瀬由夏(学部3年)「胡蝶の夢」(展覧出品作品)



27 加藤圭織さんがデザインした 「スカートめくりカレンダー」が話題

グラフィックデザイン学科卒業生でデザイナーの加藤圭織さんが、「スカートめくりカレンダー2013」を考案し、話題になっています。月が替わるごとにスカートに1枚1枚めくっていきユニークなデザインのカレンダーで、ウィレッジヴァンガードオンラインストアと東急ハンズ池袋店で販売されています。 URL:http://vstore.jp/ ウィレッジヴァンガード:http://ikebukuro.tokyu-hands.co.jp/

28 天羽慎之介さんの作品「杉玉猪口」が 安曇野高橋節郎記念美術館賞を受賞

28 告知綾さんのアニメクリー映像作品が、 日本、韓国等で多数受賞

映像学科副手の告知綾さんのアニメクリー映像作品「櫻本製作用所」が、複数の映画祭で受賞し、推薦上映されました。アニメクリーは、ドキュメンタリーをアニメーションで撮る手法で、告知さんは簿記作業を営んでいた自身の祖父母をモデルに制作しました。◎「櫻本製作用所」(9分16秒 / 2012) 「FishEye2012」最優秀グランプリ(モンゴル) 「映画連アワード2012」準グランプリ(日本) 「メイド・イン・釜山独立映画祭2012」推薦上映(韓国) 「映画連国際短編映像祭 優秀作品賞」準グランプリ(日本)、「第14回TBS DigiCon6」優秀賞(日本)

29 第80回独立展で学生、 卒業生が受賞、多数入選

「第80回独立展」で、大学院洋画領域修了生で美術家の高松和樹さんの作品「監視シニエマシク」と「ゾン殴りニエマシク」が80回記念賞および独立賞を受賞。またに在学生、卒業生が多数入選し、巡回展に出品されます。なお、高松さんは今後、アメリカ、イタリアなどで個展を予定しています。◎受賞:80回記念賞 / 独立賞:高松和樹(卒業生) ◎新人賞:西野恵理(学部4年) ◎入選:佐藤唯(初入選 / 以下、学部4年) / 伊東千紜 / 氏家咲智子(初入選 / 学部3年) / 石原由惟(学部2年) / 原田聖(以下、卒業生) / 棚澤寛 / 坂内哲郎 / 本田崇

30 シェル美術賞2012に卒業生の 大園亮介さんが入選

「シェル美術賞2012」に、洋画コース卒業生の大園亮介さんの作品「眺望」が入選し、2012年12月12日～24日に(国立新美術館)(東京)で開催される入選展に出品されました。 URL:http://www.showa-shell.co.jp/art/

18 世界に広がるデザインの潮流 デザセン決勝大会開催

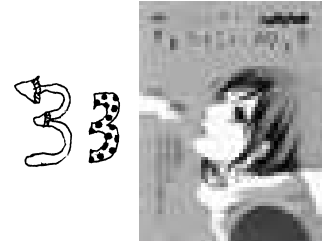
19目を迎える全国高等学校デザイン選手権大会決勝大会(通称:デザセン)を2012年10月28日に開催しました。審査員のひとりでもあるササニ電子デザイン経営センター常任顧問を務める鄭國鉉氏が韓国での開催に意欲を見せるなど、新たな展開につながる大会となりました。◎優勝:伊東高等学校城ヶ崎分校「レシート日記」(渡邊萌香 / 土田歩美 / 山下摩琴) ◎準優勝:熊本県立第二高等学校「鏡争型家庭菜園推進サイト Growers」(古賀瑞季 / 緒方里香 / 佐々木葉津子) ◎第3位:六郷工科大学「栄養貯金箱」(是則暉 / 池田百花 / 大内翼) URL:http://www.tuad.ac.jp/hidchamp/

31 加藤圭織さんがデザインした 「スカートめくりカレンダー」が話題

グラフィックデザイン学科卒業生でデザイナーの加藤圭織さんが、「スカートめくりカレンダー2013」を考案し、話題になっています。月が替わるごとにスカートに1枚1枚めくっていきユニークなデザインのカレンダーで、ウィレッジヴァンガードオンラインストアと東急ハンズ池袋店で販売されています。 URL:http://vstore.jp/ ウィレッジヴァンガード:http://ikebukuro.tokyu-hands.co.jp/

32 第18回学生CGコンテストに 2名の作品がノミネート

CG-ARTS協会が主催する「第18回学生CGコンテスト」で大学院ビジュアルコミュニケーションデザイン領域1年の松山寛子さんの作品「こどもの塔」と、安達裕平さんの映像作品「Through the Passage」がノミネートされ、2012年12月2日～4日に(MIRROR)(東京都)で開催されたノミネート展に出品されました。 URL:http://www.cgarts.or.jp/scg/2012/



33 洋画コース4年生の 柗藤ナオさん 漫画作品が「ザ マーガレット」に掲載

洋画コース4年生の須藤奈央(作家名:柗藤ナオ)さんのマンガ作品「きょうだい何人?」が、2012年12月24日発売の「ザ マーガレット2月号」に掲載されました。須藤さんは、集英社の漫画雑誌7誌が新人の発掘を目的として開催している「金のティアラ大賞」で銅賞を受賞しています。 URL:http://cookie.shueisha.co.jp/



34 訃報 松本哲男名誉学長が逝去

世界の自然・風景を描き続けた日本画家の松本哲男名誉学長が、2012年11月15日に逝去されました。享年69歳。ここに謹んで哀悼の意を表します。

省エネ建築診断士養成講座

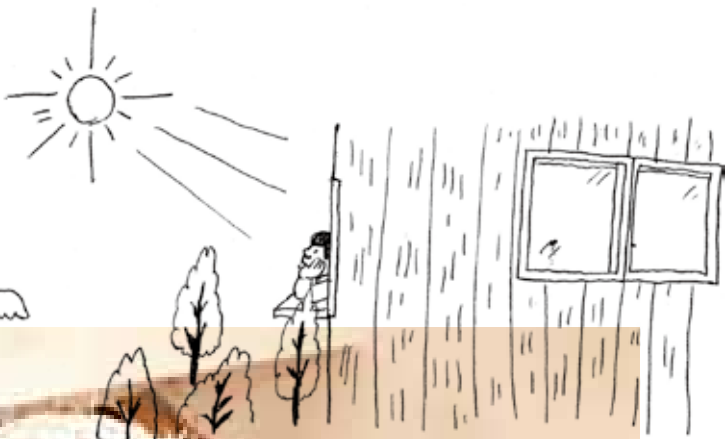
パッシブハウス・ジャパン (PHJ) 認定 [全2回]

+art

東北芸術工科大学
生涯学習プログラム



写真上:講座1日目、パッシブハウスの実例として、受講生全員で2011年夏に山形市内に完成した「house-m」を見学。通常の日本の住宅で使用するエネルギーのわずか10%の消費量でも快適に暮らせる家について、実際に住まわれている方からお話を伺いました。写真左下:「house-m」の外観。「山形の夜、外はもうこんなに寒いのに、室内は暖房を点けなくてもとても質のいい温かさでした」と九州からの受講生が驚いていたそうです。写真右下:講座2日目、森みわ講師の講義風景。この後に検定試験が控えていることもあり、受講生のみさんの表情は真剣そのものでした。



生涯学習プログラムの中には、これからの生活やビジネスに活かせる分野の資格取得講座もあります。そのひとつ、「省エネ建築診断士養成講座」は、山形県と本学が共同で開発した山形エコハウスを教材に「パッシブハウス」について理解を深め、新しい省エネ建築に関する基礎知識を修得する2日間の短期集中講座。

このパッシブハウスとは、ドイツで生まれヨーロッパ全域に広がっている断熱性能などを高めた建築のことで、日本では無暖房住宅とも呼ばれています。パッシブハウス・ジャパンでは、太陽光発電や冷暖房設備に目を向けがちな従来の省エネ住宅ではなく、日常のエネルギー消費量を抑えながら、ずっと長持ちする快適な家づくりを提案しています。そんな真の省エネ住宅としての性能を数値で判断し、設計のアドバイスができるようになるのが、パッシブハウス・ジャパンが創設した「省エネ建築診断士」です。

講座では2012年11月29日と30日の両日、本学の客員教授でパッシブハウス・ジャパン代表理事の森みわ氏とパッシブハウス・ジャパン理事の松尾和也氏が講師を担当。本場ヨーロッパでの実情の解説から始まり、建物の熱の伝わり方や気密性能と通風の必要性、快適性を保ちながら建物自体の工夫でエネルギー消費量を減らす方法などを学びました。

この講座が特徴的なのは、最終日に検定試験を実施し、合格者には省エネ建築診断士の資格が認定されること。受講生の多くは住宅メーカーや設計事務所などで働く社会人で、中には建築を学ぶ大学院生の姿も。北は秋田から南は長崎まで、全国から受講者が集まっていることから、この資格に対する関心の高さと将来性がうかがえます。

一般的にはまだ馴染みのない資格ですが、環境を強く意識する時代に、生涯で最も高い買い物とも言える住宅を建てようとするとき、無視できない存在になるのではないのでしょうか。



「講義を受けるみなさんの表情が実に真剣でした。住まう人の目線でしょうか? アドバイスができる省エネ建築診断士になってください。」
森みわ講師(本学客員教授/パッシブハウス・ジャパン代表理事)



「修士研究に省エネの知識が必要だったこと、建築の仕事をやっていく上では不可欠と思…。社会人の方々の受講は刺激的でした」
受講生:井形充さん(修士課程デザイン工学専攻)



「省エネ住宅を扱う仕事に就くので、実践的な講義内容はそのまま役立つそうです。ここで得た知識、資格は新しい武器になります」
受講生:工藤裕太さん(修士課程デザイン工学専攻)

毎日の暮らしの感性をより豊かに。東北芸術工科大学の生涯学習。

芸術や文化を日常に加えると、きっと心を豊かにし、人生に潤いを与えてくれるはず。「生涯学習プログラム」では、アートを身近に感じたい、もっと深く芸術文化を学びたい、そんな皆さんの日常の感性をお待ちしています。東北芸術工科大学のアトリエだけでなく、東北・山形の大自然が、学びのフィールドです。

2013年度前期の講座募集は、2013年3月上旬から開始いたします。資料を無料でお送りしておりますので、右記ホームページよりお申し込みください。

東北芸術工科大学 生涯学習プログラム
〒990-9530 山形市上楨田3-4-5
TEL ☎: 0120-25-8160
(受付:月～金 9:00～17:30 土・日・祝休み)
FAX ☎: 0120-41-2154
URL: <http://www.tuad.ac.jp/plusart/>



EVENT SCHEDULE

芸術大 * You

1.7→1.23

一般入試(前期)の出願受付中

●一般入試(前期)、センター利用入試(1科目利用)
出願期間:1月7日(月)～23日(水)
試験日:1月31日(木)

1.7→1.28

センター利用入試(前期)出願受付中

●センター利用入試(2科目利用前期)
出願期間:1月7日(月)～28日(月)
試験日:個別試験なし

1.9→1.20

総合美術コース1・2年生合同展

総合美術コースの学生による作品展が開催中です。入場無料ですのでお気軽にお越しください。
●総合美術コース1・2年生合同展 両手から
会期:1月9日(水)～1月20日(日) 10:00～17:00/15日、火曜休館/最終日12:00まで
会場:悠創館(山形市上楨田366番地)

1.19→3.10

洋画コース4年生が特選、入賞

「第12回福知山市 佐藤太清賞公募美術展」で、洋画コース4年の吉住神奈さんが「福知山市長賞」(特選)を受賞し、4年生の古田和子さんが入選しました。巡回展では吉住さんの作品が巡回されます。
●第12回福知山市 佐藤太清賞公募美術展
○京都会場
会期:1月19日(土)～20日(日)
会場:福知山市厚生会館
会期:1月23日(水)～2月11日(月)
会場:福知山市佐藤太清記念美術館
会期:3月6日(水)～10日(日)
会場:京都文化博物館
○東京会場
会期:2月14日(木)～17日(日)
会場:成増地域センター(アクトホール)
URL: <http://www.f-artcontest.com/>

1.28→2.2

日本版画協会展の秀作を展示

今年80回を迎える由緒ある国内最大の版画登壇門「日本版画協会展」にて受賞、賞候補となった在学生会と卒業生4名の展覧会を開催。ビュシスとは、ギリシャ語で自然を表します。
●「4 Expressions」東北の審「ビュシス」より
会期:1月28日(月)～2月2日(土)
会場:養清堂画廊(東京都中央区銀座5-5-15)
出品:佐藤妙子(洋画準備室副手/準会員優待賞)、西村沙由里(大学院2年/山口源新人賞) 榎原慶(大学院修了生/B部門賞)、倉倉奈々子(卒業生/A部門賞候補)

2.3→3.3

暮らしを彩る「福しま図案室2012」

手と指で表現する「暮らし+デザイン」のレッスンをこの冬も開講します!
●福しま図案室2012
会場:やまがた藝術学舎(山形市松見町17-1)
対象:震災後に福島県から山形県へ転入したご家族
定員:各回40名程度
教材費:大人1名1回500円(高校生以下無料)
申込先:復興支援機構TRSO事務局
TEL:023-627-2218(平日9:00～17:00)
申込締切:各実施日の2日前まで
○第5回
日時:2月3日(日) 13:00～16:00

講師:平澤まりこさん(イラストレーター)
○第6回
日時:3月3日(日) 13:00～16:00
講師:鹿野譲(WOWアートディレクター、未来派
図画工作)

2.5→2.9

高田純嗣さんの金属立体作品が受賞

「JAPAN INSTITUTE U35 次世代育成全国公募展」で、大学院修了生の高田純嗣さんの金属立体作品が「U35サポートアワード・ギャルリー・パリ賞」を受賞。下記の日程で受賞作品展が開催されます。
●U35サポートアワード・ギャルリー・パリ賞受賞記念展
会期:2月5日(火)～9日(土)
会場:ギャルリー・パリ(神奈川県横浜)
URL: <http://www.japaninstitute.jp/u35jp>

2.8→2.24

恵比寿映像祭で「今村商店」上映

第5回恵比寿映像祭の「日本新進映像作家たち」という上映プログラムで、映像学科副手の吉田綾さんの作品「今村商店」が上映されます。
●第5回恵比寿映像祭「パブリックメディアアワード」
会期:2月8日(金)～24日(日) 10:00～20:00/最終日18:00まで/2月12日、18日は休み
※「今村商店」は2月11日18:30～、2月20日15:00～、2月23日11:30～の3回上映
会場:会場:東京都写真美術館/恵比寿ガーデンプレイスセンター広場/ザ・ガーデンルームほか
入場料:定員制の上映プログラム、イベント等は有料
URL: <http://www.yebizo.com/>

2.11, 3.24

悠創の丘で「そらと丘の工作室」

悠創館で、「自然」と「芸術文化」を通じて子どもたちの感性に働きかける全5回のワークショップを開催中。総合美術コースの花澤洋太准教授と学生が手伝いながら、自然を使った作品制作を楽しめる企画です。
●「そらと丘の工作室」
会場:悠創館(山形市上楨田366番地)
対象:5歳以上～小学生/各回20名
参加費:各回500円(保険代、材料費込み)
○「ソリをつくろう」
日時:2月11日(月) 10:00～12:00
○「うまれる」春色たまごをつくろう」
日時:3月24日(日) 10:00～12:00
お申込み:やまがたスポーツパーク(TEL:023-655-5900)

2.12→2.17

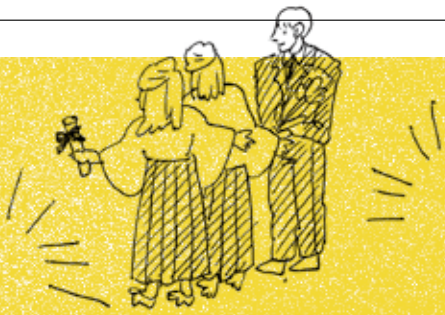
「ミサワクラス OPEN HOUSE」を開催

山形市の魔法館をリノベーションしたシェアアパート(ミサワクラス)が住居を開放し、住人である卒業生が展覧会を開催します。
●ミサワクラス OPEN HOUSE 2013
会期:2月12日(火)～17日(日) 12:00～19:00
会場:ミサワクラス(山形市本町1-7-24)
URL: <http://r-commons.com/>

2.12→3.8

一般入試(後期)の出願は2月12日から

●一般入試(後期)、センター利用入試(2科目利用後期)
出願期間:2月12日(火)～3月8日(金)
試験日:3月14日(木)※センター利用は個別試験なし



「B+E」では、在学生や卒業生の方からのイベントなどの告知や、受賞情報をお待ちしております。広報室へお気軽にご連絡ください。また、広報室内容は変更になる場合がありますので、HPなどで事前にご確認願います。

2.13→2.17

学生の集大成を一緒に

2012年度の卒展をキャンパス全体を展示会場にして開催。本紙2ページから関連記事を掲載しています。
●東北芸術工科大学卒業/修了研究・制作展
会期:2月13日(水)～17日(日) 10:00～17:00
会場:東北芸術工科大学キャンパス
URL: <http://www.tuad.ac.jp/sotsuten/>

2.18→2.23

想いをカタチに。3人展「3methods」

大学院修了生の元木孝美さんと下小川毅さん、洋画コース卒業生のスズキエイチさんが、展覧会を開催します。1970年代生まれの3人が、周囲との関わりの中で変わりゆく自身の場所と変わらない制作への想いを「カタチ」にします。
●3methods
会期:2月18日(月)～23日(土) 12:00～19:00/最終日17:00まで
会場:表参道画廊(渋谷区神宮前4-17-3)
URL: <http://omotesando-garo.com>

2.22→3.24

佐藤太清賞公募美術展、開催

福知山市は、文化勲章受章者の佐藤太清氏の功績を讃え、人材育成を目的として絵画作品の一般公募を実施。日本画コースの学生2名が選出され、展示会を下記の日程で開催します。
●第12回福知山市 佐藤太清賞公募美術展
福知山市長賞(特選):吉住神奈(日本画コース4年)
入選:古田和子(日本画コース4年)
○横浜会場
会期:2月22日(金)～25日(月) 11:00～18:00
会場:横浜赤レンガ倉庫1号館
○京都会場
会期:3月6日(水)～10日(日) 10:00～18:00/6日は13:00から、10日は17:00まで
会場:京都文化博物館
○名古屋会場
会期:3月19日(火)～24日(日) 10:00～18:00/24日は17:00まで
会場:名古屋市民ギャラリー矢田

2.23→2.27

卒業・修了展の選抜作品を東京で

2012年度東北芸術工科大学卒業・修了展(東京展)を開催。山形県に出展となった作品の中から、美術科の選抜作品が一室に会します。
※オープニングパーティ、ゲストなども検討中です。追ってWEBにてご案内いたします。
●東北芸術工科大学卒業・修了展「東京展」
会期:2月23日(土)～27日(水) 10:00～18:00(予定)
会場:東京都美術館

2.25→3.2

版画界の若い才能を感じる展覧会

作家として飛び立とうとする若い才能を支援したいという画廊のご好意により、2回目となる展覧会を開催します。前回は国内外のコレクターから問い合わせがあり好評を博しました。
●ビュシス・萌芽する版画家たちⅡ
会期:2月25日(月)～3月2日(土)
会場:養清堂画廊(東京都中央区銀座5-5-15)
出品:在学生、卒業生22名(教員3名賛助出品)

3.7→3.16

アートでチャリティー

株式会社三越伊勢丹ホールディングスとの共催に

よるチャリティーアートオークションと、その関連イベントを外苑キャンパスで実施します。
●KISS THE HEART
会期:3月7日(木)～16日(土)
会場:外苑キャンパス
オークション作品展示:3月7日(木)～16日(土)
映画上映:3月9日(土)～10日(日)
オークション:3月15日(金)～16日(土)
お問合せ:外苑キャンパス
TEL:03-5412-6111

3.19→3.29

日常の暮らしにアートを

+art展と題した、生涯学習プログラム受講生に依る作品展を開催します。講義担当教員の作品も合わせて出品予定です。
●+art展
会期:3月19日(火)～29日(金) 10:00～17:00
会場:東北芸術工科大学本館7階ギャラリー

3.20

晴れの門出、卒業式・修了式

平成24年度 東北芸術工科大学 卒業式・修了式を以下の通り行います。式終了後、本館の教室で各学科・学系・コースの学位授与を行います。
※開始時刻などが変更になる場合がありますので、別途対象の方へお送りする案内をご確認ください。
●平成24年度 卒業式・修了式
日時:3月20日(水) 10:30～(受付開始10:00)
会場:東北芸術工科大学体育館

3月下旬

デザインの面白さを体験

大学受験を検討されている高校生向けに、デザインのスキルアップやデザインの面白さを知っていたく特別セミナーを開催します。詳細は決まり次第、資料請求者へご案内します。
●スプリングセミナー
日時:3月下旬の平日を予定
会場:東北芸術工科大学
対象:大学受験を希望している高校生

4.7

大学生生活のスタート、入学式

平成25年度 東北芸術工科大学大学院・東北芸術工科大学入学式を以下の通り行います。
※開始時刻などが変更になる場合がありますので、別途対象の方へお送りする案内をご確認ください。
●平成25年度 入学式
日時:4月7日(日) 開式10:30～(開場9:30)
会場:東北芸術工科大学体育館

4.27→5.29

今年も戻ってきた「サクラマス2013」

芸工大出身のクリエイター達が「プロ」として成長した成果を、山形の地に集い発表する企画展「サクラマス展」。次回が10回目の記念開催となります。※ただ今、出展者を募集しています。ご検討の方へ要綱をお送りしますのでinfo@sakuramasu.jpまでご連絡ください。
●サクラマス2013
会期:4月27日(土)～5月29日(水) 10:00～18:00/最終日は16:00まで/木曜、第一、第三火曜日定休
会場:山形デザインハウス(山形市七町2-7-10)
主催:サクラマス運営委員会
共催:NPO法人山形県デザインネットワーク
URL: <http://sakuramasu.jp/>